

宮城県感染症発生動向調査情報(第20週)

宮城県【平成26年05月22日】発行
宮城県保健環境センター
TEL (022)257-7228

— 2014.5.12 ~ 5.18 ・ 第20週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								仙 台 市				宮 城 県 (含む仙台市)			
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	患者数	患者数	累計	第17週	第18週	第19週	第20週		
水痘	14 2.80	3 0.30	4 0.80	2 1.00	4 1.33	2 0.20	1 0.50	14 0.54	43 0.74	923	レ→	○→	○→	○		
流行性耳下腺炎			1 0.20		2 0.67		1 0.50	9 0.35	13 0.22	230	→	→	→			
百日咳	1 0.20								1 0.02	4	→	→	→			
感染性胃腸炎	65 13.00	92 9.20	17 3.40	43 21.50	22 7.33	30 6.00	26 13.42	349 13.42	644 11.10	10,025	◎→	◎→	◎→	◎		
手足口病	1 0.20					1 0.20			2 0.03	25	→	→	→			
伝染性紅斑	2 0.40	6 0.60	9 1.80	5 2.50	2 0.67	7 1.40	20 0.77	51 0.88	725	○→	レ→	○→	○			
突発性発しん	1 0.20	8 0.80	4 0.80		3 1.00	5 1.00	21 0.81	42 0.72	672	○→	レ→	○→	○			
ヘルパンギーナ		2 0.20							2 0.03	8	→	→	→			
インフルエンザ	22 2.75	7 0.47	3 0.38	1 0.33	9 1.80	12 1.50	14 3.50	35 0.83	103 1.11	28,793	◎→	◎→	◎→	◎		
咽頭結膜熱	3 0.60	1 0.10	4 0.80	3 1.50				7 0.27	18 0.31	195	→	→	→			
流行性角結膜炎		2 0.67						1 0.17	3 0.25	43	→	→	→			
急性出血性結膜炎											→	→	→			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16 3.20	17 1.70	6 1.20	9 4.50	11 3.67	25 5.00	2 1.00	58 2.23	144 2.48	2,679	◎→	◎→	◎→	◎		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→			
無菌性髄膜炎											→	→	→			
マイコプラズマ肺炎			3 3.00				5 5.00	2 0.40	10 0.83	169	→	→	→			
クラミア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→			
RSウイルス感染症		1 0.10	2 0.40					4 0.15	7 0.12	290	→	→	→			
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		4	1				2	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向						
	川崎病	1						2	2	【週報の詳細】宮城県保健環境センターのホームページをご覧ください。 http://www.ihe.pref.miyagi.jp/~kansen-center/						
	不明発疹症							1	1							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※					1		2	3	48						

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

今週の全数報告疾病

1類感染症：報告なし ※男児、女児は6歳未満
2類感染症：結核

塩釜管内 女性2名
仙南管内 女性1名
栗原管内 男性1名、女性1名
仙台管内 男性1名(第18週)、男性2名、女性1名

3類感染症：報告なし

4類感染症：つつが虫病

仙南管内 男性1名

5類感染症：侵襲性インフルエンザ菌感染症

塩釜管内 女性1名
侵襲性肺炎球菌感染症
石巻管内 女性1名(第19週)
仙台管内 男児*1名

今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

今週の感染症のコメント

— 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【感染性胃腸炎】

栗原管内で警報値を超えた。
今週患者数の増加がみられ、依然として集団発生事例の報告や患者からもノロウイルスが検出がされているので、引き続き注意を要する。

【伝染性紅斑】

栗原管内で警報値を超えた。

【インフルエンザ】

定点当たりの患者報告数が、全ての保健所管内で警報継続(注意報発令)基準値を下回ったことなどから、平成26年3月28日に発令したインフルエンザ警報を5月21日に解除した。

【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎集団発生事例より

栗原管内 第20週採取分 ノロウイルスGⅡ 5件

栗原管内 第20週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件

感染性胃腸炎患者より

塩釜管内 第15週採取分 ノロウイルスGⅡ 1件

第16週採取分 ノロウイルスGⅡ 1件

第17週採取分 ノロウイルスGⅡ 2件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第18週採取分 (4.28～5.4)	第18週採取分 (5.5～5.11)	第19週採取分 (5.12～5.18)
インフルエンザウイルスAH1pdm	1件	1件	0件
インフルエンザウイルスB	2件	0件	0件
インフルエンザウイルスC	2件	0件	0件
インフルエンザウイルス(解析中)	0件	0件	1件
RSウイルス	0件	2件	2件
アデノウイルス	2件	1件	0件
ヒトメタニューモウイルス	1件	0件	0件

インフルエンザ関連情報 (患者報告年齢別割合)

報告週	年齢群 (%)											総数 (人)
	0～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～	
2014年 第17週	17.9	38.6	18.7	4.5	2.4	5.1	4.3	4.7	1.6	0.5	1.7	749
第18週	20.1	36.7	17.2	6.3	2.6	3.9	3.9	3.4	2.6	2.6	0.8	384
第19週	21.3	20.6	25.2	5.2	4.5	7.1	5.8	3.2	3.9	1.9	1.3	155
第20週	14.6	29.1	23.3	7.8	4.9	6.8	3.9	3.9	4.9	1.0	0.0	103

【定点把握の対象となる5類感染症(全国 第18週)】 (国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

インフルエンザ：定点当たり報告数は増減した。都道府県別の上位3位は沖縄県(10.26)、山形県(9.40)、岩手県(8.20)である。RSウイルス感染症：報告数は353例と3週連続で減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約78%を占めている。咽頭結膜熱：定点当たり報告数は第15週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は鹿児島県(1.95)、宮崎県(1.80)、富山県(1.69)、石川県(1.69)である。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎：定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は山形県(3.97)、新潟県(3.79)、石川県(3.41)である。感染性胃腸炎：定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は福井県(16.36)、宮崎県(15.57)、大分県(14.00)である。水痘：定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(2.45)、沖縄県(2.24)、新潟県(2.00)である。マイコプラズマ肺炎：定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は福島県(2.29)、青森県(1.67)、富山県(1.40)である。感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)：定点当たり報告数は第15週以降増加が続いている。42都道府県から375例報告があり、年齢別では0歳(45例)、1～4歳(257例)、5～9歳(56例)、10代(8例)、20代(2例)、30代(2例)、50代(1例)、60代以上(3例)であった。

※ 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。()内数字：定点当たり報告数